

県内景況、先行き不透明感続く

原材料等コスト上昇、米中貿易摩擦、人手不足感継続

～景況 DI 値前月比 31.6 ポイント低下、前年同月比 23.7 ポイント低下～

*DIとは景気の動きをとらえるための指標。「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

1. 7月鳥取県内の中小企業景況

売上（受注）高 製造業では、DI 値前月比で同水準、前年同月比では26.3ポイント低下。非製造業では、前月比で15.7ポイント上昇、前年同月比でも10.5ポイント上昇。

在庫数量 製造業では、DI 値前月比、前年同月比ともに10.5ポイント低下。非製造業では、前月比で8.3ポイント低下、前年同月比では8.4ポイント上昇。

販売（受注）価格 製造業では、DI 値前月比で5.3ポイント上昇、前年同月比でも10.5ポイント上昇。非製造業では、DI 値前月比、前年同月比ともに10.5ポイント上昇。

取引条件 製造業では、DI 値前月比で同水準、前年同月比では5.3ポイント上昇。非製造業では、前月比、前年同月比ともに5.3ポイント上昇。

収益状況 製造業では、DI 値前月比で31.5ポイント低下、前年同月比でも21.1ポイント低下。非製造業では、前月比で5.3ポイント上昇、前年同月比でも10.6ポイント上昇。

資金繰り 製造業では、DI 値前月比、前年同月比ともに10.5ポイント低下。非製造業で同水準、前年同月比では5.3ポイント上昇。

雇用人員 製造業では、DI 値前月比、前年同月比ともに同水準。非製造業では、前月比で同水準、前年同月比では15.8ポイント低下。

景況 製造業では、前月比で36.8ポイント低下、前年同月比でも26.3ポイント低下。非製造業では、前月比で26.3ポイント低下、前年同月比でも21.0ポイント低下。

県内中小企業の景況は、全業種景況 DI 値は、前月比で31.6ポイント低下、前年同月比でも23.7ポイント低下となった。製造業では、一般食料品、繊維・同製品、印刷関連などで原材料等コストが上昇しており収益を圧迫している。また一般機器や電気機器造業で米中貿易摩擦の影響を受け始めている業種もある。非製造業では、商店街、観光・旅館業の一部でインバウンド需要、また卸売業、自動車販売では消費税増税前の駆け込み需要もみられたが、全体的に消費は低迷傾向。多くの業種で人手不足感は継続しており、県内の景況は引き続き停滞傾向で、先行き不透明感は続いている。

2. 企業倒産（㈱帝国データバンク調べ）

7月の全国倒産は、件数783件、負債総額916億9,000万円（負債総額1,000万円以上）で、件数は2カ月連続の前年同月比増加で今年最多、負債総額は2カ月連続の前年同月を下回った。主因別では、不況型倒産は613件、構成比は78.3%を占めた。負債規模別では、負債5,000万円未満の倒産は497件、構成比は63.5%を占めた。

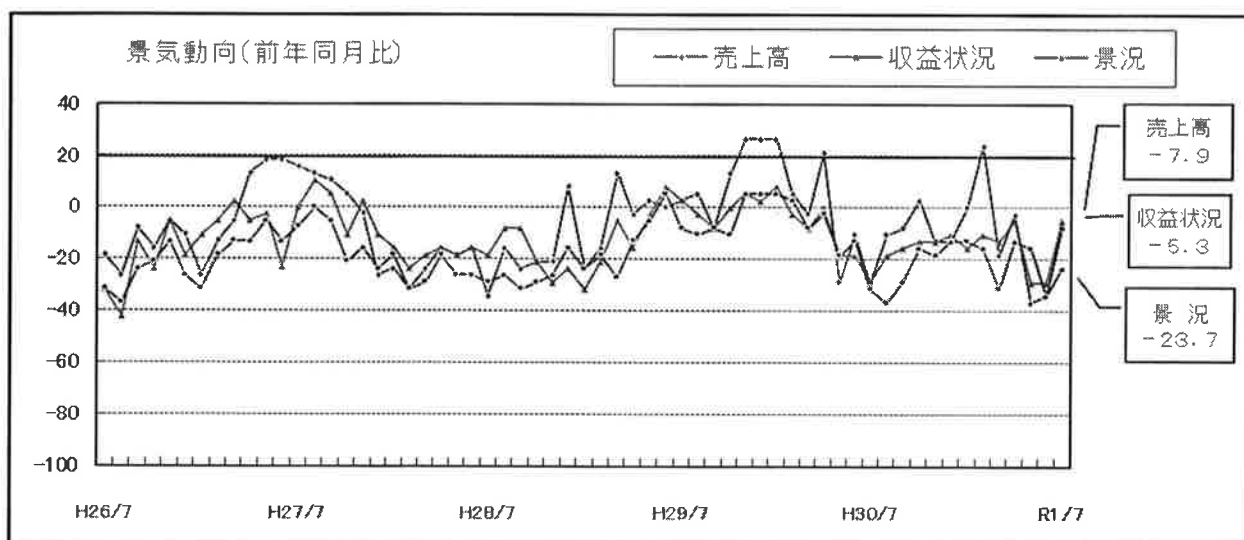
一方、7月の鳥取県内企業倒産は、倒産件数2件（前月5件）、負債総額は1億3,500万円（前月7億9,200万円）となった。業種は建設業1件、製造業1件、主因別は全て販売不振、負債額は5,000万円未満1件、1億円以上5億円未満1件となった。

3. 労働情勢（鳥取労働局職業安定課調べ「労働市場月報6月分」）

鳥取県の6月の有効求人倍率（パートを含む速報値）は1.75倍（季節調整値）（全国有効求人倍率は1.61倍）で、前月を0.05ポイント下回った。各所別有効求人倍率では、鳥取所1.33倍、米子所1.96倍、倉吉所1.65倍となった。新規求人倍率（パートを含む速報値）は2.66倍（季節調整値）で、前月を0.03ポイント下回った。

新規求人数は、前年同月比2.6%増加し、有効求人数は5.7%増加となった。産業別に前年同月と比較すると、建設業（11.8%）、医療・福祉（4.3%）、サービス業（5.6%）で増加した。

新規求職者数は、前年同月比9.6%減少し、有効求職者数も0.6%減少した。パートタイムの有効求人倍率（原数値）は1.70倍で、前年同月を0.03ポイント上回った。新規求人数は1.4%増加した。



7月の中小企業景況

前月比	製 造 業			非 製 造 業			全 業 種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1) 売 上 高	31.6%	31.6%	0.0 -5.3	36.8%	21.1%	15.7 52.5	34.2%	26.3%	7.9 23.7
(2) 在庫数量	5.3%	15.8%	-10.5 5.3	8.3%	16.7%	-8.3 -16.7	6.5%	16.1%	-9.6 -3.2
(3) 販売価格	5.3%	0.0%	5.3 10.6	15.8%	5.3%	10.5 26.3	10.5%	2.6%	7.9 18.4
(4) 取引条件	0.0%	0.0%	0.0 0.0	5.3%	0.0%	5.3 10.6	2.6%	0.0%	2.6 5.2
(5) 収益状況	5.3%	36.8%	-31.5 -15.7	15.8%	10.5%	5.3 31.6	10.5%	23.7%	-13.2 7.9
(6) 資金繰り	5.3%	15.8%	-10.5 15.8	5.3%	5.3%	0.0 21.1	5.3%	10.5%	-5.2 18.5
(7) 設備操業度	10.5%	26.3%	-15.8 -21.1						
(8) 雇用人員	5.3%	5.3%	0.0 -5.2	5.3%	5.3%	0.0 5.2	5.3%	5.3%	0.0 0.0
(9) 景 況	0.0%	36.8%	-36.8 -21.0	5.3%	31.6%	-26.3 21.1	2.6%	34.2%	-31.6 0.0

前年同月比	製 造 業			非 製 造 業			全 業 種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1) 売 上 高	15.8%	42.1%	-26.3 -5.3	36.8%	26.3%	10.5 57.8	26.3%	34.2%	-7.9 26.3
(2) 在庫数量	5.3%	15.8%	-10.5 10.6	16.7%	8.3%	8.4 16.8	9.7%	12.9%	-3.2 13.0
(3) 販売価格	15.8%	5.3%	10.5 5.2	15.8%	5.3%	10.5 21.0	15.8%	5.3%	10.5 13.2
(4) 取引条件	5.3%	0.0%	5.3 5.3	5.3%	0.0%	5.3 10.6	5.3%	0.0%	5.3 8.0
(5) 収益状況	0.0%	21.1%	-21.1 -0.1	21.1%	10.5%	10.6 47.4	10.5%	15.8%	-5.3 23.6
(6) 資金繰り	0.0%	10.5%	-10.5 21.1	5.3%	0.0%	5.3 15.8	2.6%	5.3%	-2.7 18.4
(7) 設備操業度	10.5%	31.6%	-21.1 -26.4						
(8) 雇用人員	15.8%	15.8%	0.0 -5.3	0.0%	15.8%	-15.8 0.0	7.9%	15.8%	-7.9 -2.7
(9) 景 況	0.0%	26.3%	-26.3 5.3	5.3%	26.3%	-21.0 15.8	2.6%	26.3%	-23.7 10.5

* D I とは、デフュージョン・インデックスの略。D I 欄上段は、「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

* D I 欄下段は、今月調査 D I（上段）から前月調査 D I を差し引いた値。

4. 特記事項(景況の変化とその原因・現状等企業経営・業界での問題点)

製 造 業

【食料品】

一般食料品⇒ 同業他者との過当競争により値上げ交渉ができない。原材料、副資材の上昇分を納入価格に転嫁できず収益を圧迫している。

醤 油⇒ 味噌・醤油の売上高（出荷数量）はやや減少し、つゆ、タレ等の調味料が伸長している。それ以外に大きな変化はない。

【繊維・同製品】

婦 人 服⇒ 7月に入り、盆商戦に向けて受注量が例年通り大幅に増大した。相変わらず生産キャパの確保が難しい状況。

ニット製品⇒ 来年春物・夏物商品の受注の動きは、10月の最低賃金引上げ、原材料及び物流等の増加などコストアップ要因で値上げの交渉が不可欠であるが、衣料品消費の低迷に加え、10月からの消費税増税が重なり、依然として、デフレから脱却できない状況で推移しており、企業収益の回復は厳しい。

【家具装備品】

⇒ バブル崩壊後の長期不況により、木製品、家具業界は業者数、従業員数が減少している。特に近年、新規採用が困難となり技術者不足と高齢化により、積極的な事業展開への意欲が低下している。

【木材・木製品】

製 材 品⇒ 製材用素材の入荷量、製材品の出荷量はともに前月比で不変。合板の生産量は前月比でわずかに増加。今後も製材品の動きに大きな変化はない模様。プレカット加工の稼働率は前月比25%減少、前年同月比不変となった。

【紙・加工品】

和 紙⇒ 小雨や河川復旧工事の影響があり、取水が困難で操業度が低下。受注が低調なこともあり、売上高は前月比、前年同月比とも減少。不需要期でもあり総じて閑散な状況。

【印 刷】

⇒ 定期刊行物は例年通りの受注があるが、小売り、不動産などのチラシが全体的に落ち込んでいる。昨年あったものが今年はゼロという極端なこともある。顧客の囲い込みには提案型営業が必要だが、利益確保も優先される。付加価値をどうしてつけるかが課題。売上の割に人件費、設備の解体・廃棄、メンテナンス費用が突発的に発生する場合もあり、用紙の他に、インク・段ボールなどの資材の値上げもある。価格へ転嫁しないと収益・資金繰りに影響が出る。

【窯業・土石製品】

生 コ ン⇒ 7月の生コン出荷量は、前年同月比で113%。地区別の出荷状況

は、東部地区は135%、中部地区は174%、西部地区は69%。新年度大型工事の発注がない中で、県内全体に民間設備投資が相次いでいるため、前年度は前年割れの数値が続いていたが、今年度は初めて前年を上回った。

【金属製品】

金属加工⇒ 建築関係は、高力ボルトや一部鋼材の入荷遅れや人手不足による工程遅延の影響で、手持ちの仕事が少なく、秋以降の需要に期待した営業活動を行っている。機械加工は、仕事量が少なく先行き不透明。

鉄骨加工⇒ 高力ボルト不足は若干ではあるが改善の兆しがみえつつある。メーカーにもよるが早ければ小物件の場合4カ月程度で納品が可能になる場合がある。先々の案件は潤沢にあり、来年度の営業活動を行っている事業所は多い。

【一般機械器具】

⇒ 7月の受注は特定企業からの依頼が活発にあり、全体の売上を押し上げた。その他の企業も比較的順調であった。今年度の見通しは全体には下降気味であり、自動車関係も陰りが出てきているが、受注量が増加しているところもある。このような企業の特徴は他社にはできない技術を要する部品を製造しており、今後の生き残れる典型的な企業になりそうである。業界全体では全国的に若干の下降傾向がみられていて、米中貿易摩擦の影響を受け始めている。

【電気機械器具】

⇒ 車載関連は依然好調、PC関係はWindows7サポート終了に向け、消費税増税前購入により増産体制。米中貿易摩擦問題での影響を受け始めている。中国から日本へ生産移転の可能性またはASEANへの移転が加速されている。ベトナムからの外国人技能実習生も増加している。

非製造業

【卸売業】

東部地区⇒ 青果関係では、売上高は前月比、前年同月比ともに減少。全国的な日照不足など、天候不順が大きな影響を与えている。鮮魚関係では、売上高は、前月比で微増、前年同月比で減少。価格も消費者の魚離れの傾向を受け安定しない。

中部地区⇒ PC関係ではWindows7サポート終了、消費税増税に備え、活発に買替えが進んでいるが、その他のOA機器や家具は様子見の状態。

西部地区⇒ FCチェーン店や大型店の出店により、取引先への影響が深刻となっている。また直売の流れが進むなか、卸売業が淘汰されつつある。

水産物⇒ 天然本マグロ漁は7月も順調に水揚げ続いたものの、一部が太平洋側での水揚げ、更には畜養用にまわり前年を2割程下回る水揚量となった。全般に大きな時化はなかったが、巻き網物は海流・潮の状況が悪く投網

してもまとまった漁獲がないことが多く、近年まれに見る極端な「夏枯れ」状況となった。近海物は定置網にサワラ、ヒラマサ、イサキ等の水揚げはあったが絶対量の不足から高値で推移した。

リサイクル原料⇒ 国内鉄スクラップ市況は、米中貿易摩擦の影響が続いたため、先月の安値のまま横ばい状態が続いた。古紙市況は、長期に及ぶ輸出の停滞でなお下げ含みの展開。非鉄市況は、円高等の原因で、今年度最安値のまま月末を迎えた。

【小売業・商店街】

東 部 地 区⇒ 鳥取市の商店街では、飲食店ではインバウンドを含む観光客は増えている。小売業は、夏季賞与後も芳しくない。宿泊関連は安定している。鳥取本通商店街では、複合施設「パレットとっとり」内にコンビニエンスストアをオープンした。鳥取市役所の鳥取駅南への移転を含む、駅周辺の集客増と活性化を期待している。

中 部 地 区⇒ 倉吉市の商店街では、7月20日多くの来場者、関係者で「打吹回廊」のオープニングセレモニーを実施した。また土曜夜市にも多くの来街者があり銀座通りは賑わいをみせた。今後も「打吹回廊」を中心に元気な商店街再生を目指していきたい。

西 部 地 区⇒ 米子市の商店街では、7月20日、27日の2日間にわたり第69回となる土曜市が開催され、戸板市や復活土曜夜市など様々なイベントにより多くの来街者で賑わった。土曜夜市は本年度からの試みであったが、大きな反響を呼び、次年度も継続する予定である。

境港市の水産物小売は、7月はベニズワイガニ漁や底引き網漁が休漁期に入るため、年間最も魚種が少ない時期であり、売上も伸びない。8月の盆期間中にどこまで取り戻せるかがカギとなっている。鮮魚販売の伸び悩みとは逆に飲食店舗の伸び率は好調。また貨客船の外国人客は増加傾向にある。

【旅館・観光】

⇒ 鳥取市では、梅雨明けが遅く、鳥取砂丘、砂の美術館への観光客は減少していたが、3連休と学校が夏休みに入り梅雨明け後は増加した。売上高は前月比、前年同月比ともに増加し、収益状況は好転した。

米子市のホテル・旅館では、前月比では、宿泊客が増加したことから、売上高は増加、販売価格も上昇したため収益状況は好転した。前年同月比では、日帰り客、宿泊客ともに減少したことから売上高は減少した。業界全体では、設備更新や10月からの消費税増税による影響が懸念される。

三朝温泉は、香港・韓国からのインバウンド需要はあるが、人手不足が顕著となっている。

観光地の大山では、売上高は、前月比、前年同月比ともに減少。全体的に景況は悪化している。

【自動車整備業】

⇒ 乗用車の新車販売実績は、消費税増税前の駆け込み需要もあり、普通自動車で前月比22%増加、前年同月比12%増加した。軽自動車は前月比2%減少、前年同月比10%減少。貨物自動車は、前月比16%減少、前年同月比21%増加、軽貨物自動車は前月比18%減少、前年同月比5%減少。軽自動車の県内保有台数割合は52%と高く、普通車に比べ整備単価が低いため整備売上高は減少傾向。

【建設業】

⇒ 7月の県下公共工事实績は、前年同月比で、請負金額は大幅な増加となった。住宅建築には持家・貸家系とも一服感があるものの、設備関連は民間の大型工事により堅調推移。専門性の高い職種・分野における人手不足や資材価格の値上がり、受注の減少予測等により、引き続き先行きの厳しい見通しは続いている。

前払金保証取扱から見た県下公共工事の動向(7月)は、件数193件(前年同月比1%減)、請負金額109億円(同75%増)となった。請負金額地区別状況(7月末累計)は、東部地区(前年対比31%増)、八頭地区(同8%増)、中部地区(同195%増)、西部地区(同47%増)、日野地区(3%減)となった。

6月の鳥取県新設住宅着工戸数は262戸(持家165戸、貸家97戸)で、前月比23%増加、前年同月比では41%減少となった。

【運輸業】

東部地区⇒ 製造業などの出荷量は概ね減少、月前半は天候不順により季節商品などにも影響があり低調な荷動きとなっていたが、後半に持ち直しの傾向がみられた。また復路荷物も相変わらず不足傾向が続いて空車運行もみられた。売上高は、前月比、前年同月比ともに不変、燃料価格は横ばいで推移しているものの収益状況の改善には至っていない。

西部地区⇒ 梅雨明けが例年より遅く、飲料、夏物商品などに影響があったことは否めない。輸送関係では中部地区の西瓜出荷が好調となるなど農産物の出荷は順調に推移した。一方、製造業などでは長引く米中貿易摩擦、日韓問題などの影響で往路復路ともに空車回送が目立つなど全体での輸送量は落ち込んでいる。燃料価格は高止まりのまま先行きも不透明。労働力不足を解消するには程遠いが、従来の乗務員募集項目の大型免許保持者などから、大型免許取得費用全額を事業者で負担する動きも出始め、業界を挙げて取り組み始めている。

5. 中央会・行政庁への連絡要請事項

- ・消費税増税対策(商店街)
- ・複合施設「打吹回廊」に続き、倉吉銀座商店街の空き地の利活用に各機関の支援を望む。(商店街)

最近の指標の前月比D I の推移

		2018年						2019年							前年との 増減幅
		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	
売上高	製造業	0.0	-15.8	5.2	10.6	-5.3	26.3	-36.8	26.3	15.8	0.0	-26.3	5.3	0.0	0.0
	非製造業	-10.5	5.3	-21.1	10.5	15.8	5.2	-42.1	5.2	26.3	10.5	0.0	-36.8	15.7	26.2
	全業種	-5.3	-5.3	-7.9	10.5	5.2	15.8	-39.4	15.8	21.0	5.2	-13.1	-15.8	7.9	13.2
在庫数量	製造業	-10.5	0.0	-10.5	10.5	0.0	-10.5	-10.5	-15.8	0.0	-10.5	-15.8	-15.8	-10.5	0.0
	非製造業	-25.0	-8.4	-16.7	8.4	-8.3	8.3	-16.7	-8.4	0.0	0.0	-16.7	8.4	-8.3	16.7
	全業種	-16.1	-3.2	-12.9	9.7	-3.2	-3.2	-12.9	-12.9	0.0	-6.5	-16.2	-6.4	-9.6	6.5
販売価格	製造業	5.2	5.3	0.0	0.0	10.5	10.5	10.5	5.3	0.0	5.3	0.0	-5.3	5.3	0.1
	非製造業	0.0	10.6	-10.6	5.3	0.0	21.2	-26.3	-15.8	-10.6	-5.3	10.5	-15.8	10.5	10.5
	全業種	2.6	7.9	-5.3	2.6	5.2	15.8	-7.9	-5.2	-5.2	7.9	5.3	-10.5	7.9	5.3
取引条件	製造業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	非製造業	-10.5	-10.5	-21.1	0.0	-5.2	-10.5	-10.5	-10.5	-10.5	-5.3	-5.3	-5.3	5.3	15.8
	全業種	-5.3	-5.3	-10.6	0.0	-2.7	-5.3	-7.9	-5.3	-5.3	-2.6	-2.6	-2.6	2.6	7.9
収益状況	製造業	0.0	-10.6	0.0	0.0	-5.2	0.0	-26.3	-5.2	0.0	-15.8	-10.5	-15.8	-31.5	-31.5
	非製造業	-26.3	5.3	-31.6	10.6	5.3	5.3	-31.5	0.0	15.8	5.3	0.0	-26.3	5.3	31.6
	全業種	-10.6	-2.6	-15.8	5.3	0.0	2.7	-29.0	-2.6	7.9	-5.3	-5.3	-21.1	-13.2	-2.6
資金繰り	製造業	0.0	-5.2	-15.8	5.3	5.3	5.3	-10.5	0.0	5.2	-10.5	-10.5	-26.3	-10.5	-10.5
	非製造業	-31.6	-5.3	-36.8	-10.5	-10.5	0.0	-15.8	-10.5	0.0	10.5	0.0	-21.1	0.0	31.6
	全業種	-15.8	-5.3	-26.3	-2.6	-2.6	2.6	-13.2	-5.3	2.6	0.0	-5.3	-23.7	-5.2	10.6
設備操業度	製造業	0.0	-5.2	0.0	15.8	10.5	15.8	-21.0	10.5	15.8	5.3	-10.5	5.3	-15.8	-15.8
雇用人員	製造業	0.0	0.0	-10.5	0.0	10.5	5.3	-5.3	0.0	10.5	10.5	-5.2	5.2	0.0	0.0
	非製造業	-5.2	0.0	-26.3	10.5	5.2	0.0	-31.6	-5.3	-5.2	10.5	5.2	-5.2	0.0	5.2
	全業種	-2.6	0.0	-18.4	5.3	7.9	2.6	-18.4	-2.6	2.6	10.6	0.0	0.0	0.0	2.6
景況	製造業	-10.5	0.0	-5.2	5.3	0.0	0.0	-21.1	-10.5	-10.5	-10.5	-10.5	-15.8	-36.8	-26.3
	非製造業	-31.5	0.0	-52.6	-5.3	0.0	-21.0	-21.0	-26.3	-15.8	-5.3	-21.0	-47.4	-26.3	5.2
	全業種	-21.1	0.0	-29.0	0.0	0.0	-10.5	-21.1	-18.4	-13.2	-7.9	-15.8	-31.6	-31.6	-10.5

最近の指標の前年同月比D I の推移

		2018年						2019年						前年との増減幅	
		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月		
売上高	製造業	-5.3	-5.3	-15.7	-5.2	-10.5	-21.0	-10.5	21.0	-36.9	-5.3	-36.9	-21.0	-26.3	-21.0
	非製造業	-52.7	-15.8	0.0	10.5	-15.7	5.3	10.5	26.3	0.0	0.0	-36.8	-47.3	10.5	63.2
	全業種	-29.0	-10.5	-7.9	2.7	-13.1	-13.1	0.0	23.7	-18.4	-2.7	-36.8	-34.2	-7.9	21.1
在庫数量	製造業	-10.5	0.0	-15.8	0.0	-5.3	-10.5	-21.1	-15.8	-15.8	-15.8	-26.3	-21.1	-10.5	0.0
	非製造業	-41.7	33.3	-33.3	-25.0	-16.7	-8.4	0.0	25.0	-8.4	0.0	-25.0	-8.4	8.4	50.1
	全業種	-22.6	-12.9	-22.6	-9.6	-9.6	-9.6	-12.9	-19.4	-12.9	-9.6	-25.8	-16.2	-3.2	19.4
販売価格	製造業	0.0	10.5	5.3	5.2	15.8	0.0	10.5	10.6	10.5	5.2	10.5	5.3	10.5	10.5
	非製造業	-21.1	-5.3	10.6	10.5	15.8	5.2	-15.8	5.3	10.6	21.1	15.8	-10.5	10.5	31.6
	全業種	-10.5	2.7	7.9	7.9	15.8	2.6	-2.7	7.9	10.5	13.2	13.1	-2.7	10.5	21.0
取引条件	製造業	-10.5	-10.5	-10.5	-5.2	-5.2	-10.5	-5.3	0.0	-5.3	-5.3	0.0	0.0	5.3	15.8
	非製造業	-15.8	-15.8	-10.5	0.0	-5.3	-5.3	-15.8	-10.5	-10.5	0.0	0.0	-5.3	5.3	21.1
	全業種	-13.2	-13.2	-10.5	-2.6	-5.3	-7.9	-10.5	-5.3	-7.9	-2.7	0.0	-2.7	5.3	18.5
収益状況	製造業	-5.3	-15.8	-5.2	-10.5	-15.8	-26.3	-26.3	-26.3	-21.1	-15.8	-26.3	-21.0	-21.1	-15.8
	非製造業	-52.6	-21.0	-26.3	-15.8	-10.5	5.2	-5.3	5.3	-5.2	5.3	-31.6	-36.8	10.6	63.2
	全業種	-28.9	-18.4	-15.8	-13.1	-13.1	-10.5	-15.8	-10.6	-13.1	-5.2	-28.9	-28.9	-5.3	23.6
資金繰り	製造業	-10.5	-15.8	-15.8	-5.2	-5.2	-10.5	-5.3	-15.8	-15.8	-21.1	-21.1	-31.6	-10.5	0.0
	非製造業	-42.1	-31.6	-36.8	-15.8	-21.1	-5.3	-10.5	-5.2	-15.8	5.2	-5.2	-10.5	5.3	47.4
	全業種	-26.3	-23.7	-26.3	-10.5	-13.2	-7.9	-7.9	-10.6	-15.8	-7.9	-13.2	-21.1	-2.7	23.6
設備操業度	製造業	0.0	0.0	0.0	10.6	15.8	15.8	0.0	10.5	-21.1	21.0	-5.3	5.3	-21.1	-21.1
雇用人員	製造業	5.2	10.5	5.2	0.0	5.2	-5.2	-5.2	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	0.0	-5.2
	非製造業	-10.5	-21.1	-10.5	5.2	-5.2	0.0	-15.8	-10.5	-15.8	5.2	-10.5	-15.8	-15.8	-5.3
	全業種	-2.6	-5.2	2.6	2.6	0.0	-2.6	-10.6	-5.3	-7.9	2.7	-5.3	-5.2	-7.9	-5.3
景況	製造業	-15.8	-26.3	-21.1	-15.8	-21.1	-10.6	-10.5	-10.5	-42.1	-21.0	-15.8	-31.6	-26.3	-10.5
	非製造業	-47.3	-47.3	-36.9	-15.8	-15.8	-15.8	-15.8	-21.0	-21.1	-5.3	-15.8	-36.8	-21.0	26.3
	全業種	-31.6	-36.9	-29.0	-15.7	-18.4	-13.2	-13.1	-15.8	-31.5	-13.2	-15.8	-34.2	-23.7	7.9

情報連絡員報告総括表(令和元年7月分)

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回 答 数 38(100%)

1-1 業界の景気動向(前月比)

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員			業界の景況			
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	
製造業	食料品	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0
	繊維・同製品	1	2	0	1	2	0	0	3	0	0	3	0	0	2	1	0	2	1	0	3	0	0	3	0	0	3	0
	木材・木製品	1	1	2	0	2	2	0	4	0	0	4	0	1	1	2	1	3	0	0	2	2	0	4	0	0	2	2
	紙・紙加工品	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1
	出版・印刷	1	0	1	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	0	2	0	0	2	1	0	1	1	0	1	0	0	2
	化学ゴム																											
製造業	窯業・土石製品	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0
	鉄鋼・金属	1	1	0	0	2	0	1	1	0	0	2	0	0	1	1	0	2	0	1	0	1	0	2	0	0	1	1
	一般機器	1	1	1	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	2	1
	電気機器	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0
	輸送用機器																											
	その他																											
非製造業	19	6	7	6	1	15	3	1	18	0	0	19	0	1	11	7	1	15	3	2	12	5	1	17	1	0	12	7
	100%	31.6%	36.8%	31.6%	5.3%	78.9%	15.8%	5.3%	94.7%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	5.3%	57.9%	36.8%	5.3%	78.9%	15.8%	10.5%	63.2%	26.3%	5.3%	89.5%	5.3%	0.0%	63.2%	36.8%
	卸売業	2	2	2	0	4	2	1	4	1	1	5	0	0	5	1	0	5	1				0	5	0	0	4	2
	小売業	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0				0	1	0	0	0	1
	商店街	1	3	0	1	3	0	1	3	0	0	4	0	0	4	0	0	4	0				0	3	1	0	2	2
	サービス業	2	2	1				1	4	0	0	5	0	2	2	1	1	4	0				1	4	0	1	3	1
非製造業	建設業	1	0	0				0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0				0	1	0	0	1	0
	運輸業	1	1	0				0	2	0	0	2	0	1	1	0	0	2	0				0	2	0	0	2	0
	その他																											
	19	7	8	4	1	8	2	3	15	1	1	18	0	3	14	2	1	17	1				1	16	1	1	12	6
	100%	36.8%	42.1%	21.1%	8.3%	66.7%	16.7%	15.8%	78.9%	5.3%	5.3%	94.7%	0.0%	15.8%	73.7%	10.5%	5.3%	89.5%	5.3%				5.3%	84.2%	5.3%	5.3%	63.2%	31.6%
	38	13	15	10	2	23	5	4	33	1	1	37	0	4	25	9	2	32	4	2	12	5	2	33	2	1	24	13
100%	34.2%	39.5%	26.3%	6.5%	74.2%	16.1%	10.5%	86.8%	2.6%	2.6%	97.4%	0.0%	10.5%	65.8%	23.7%	5.3%	84.2%	10.5%	10.5%	63.2%	26.3%	5.3%	86.8%	5.3%	2.6%	63.2%	34.2%	

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回答数 38(100%)

運給員総数38名
回答数 38(100%)

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備稼働度			雇用人員			業界の景況			
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	
製 造 業	食料品	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0
	繊維・同製品	0	3	0	1	2	0	1	2	0	1	2	0	0	3	0	0	3	0	1	2	0	0	3	0	0	3	0
	木材・木製品	0	2	2	0	2	2	1	2	1	0	4	0	0	4	0	0	4	0	0	2	2	0	3	1	0	3	1
	紙・紙加工品	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1
	出版・印刷	1	0	1	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	1	0	1	1	0	1	0	0	2
	化学ゴム																											
業	窯業・土石製品	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0
	鉄鋼・金属	1	0	1	0	2	0	1	1	0	0	2	0	0	1	1	0	2	0	0	1	1	1	1	0	0	1	1
	一般機器	1	1	1	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	1	2	0	0	3	0
	電気機器	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0
	輸送用機器																											
	その他																											
非 製 造 業	19	3	8	8	1	15	3	15	1	1	18	0	0	15	4	0	17	2	2	11	6	3	13	3	0	14	5	
	100%	15.8%	42.1%	42.1%	5.3%	78.9%	15.8%	78.9%	5.3%	5.3%	94.7%	0.0%	0.0%	78.9%	21.1%	0.0%	89.5%	10.5%	10.5%	57.9%	31.6%	15.8%	68.4%	15.8%	0.0%	73.7%	26.3%	
	卸売業	1	3	2	1	4	1	0	5	1	1	5	0	0	5	1	0	6	0			0	6	0	0	5	1	
	小売業	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0			0	1	0	0	1	0	
	商店街	1	3	0	1	3	0	1	3	0	0	4	0	1	3	0	0	4	0			0	3	1	0	2	2	
	サービス業	3	0	2				0	5	0	0	5	0	3	1	1	1	4	0			0	5	0	1	2	2	
造 業	建設業	1	0	0			1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0				0	0	1	0	1	0	
	運輸業	0	1	1			1	1	0	0	2	0	0	0	2	0	0	2	0			0	1	1	0	2	0	
	その他																											
	19	7	7	5	2	8	1	3	15	1	1	18	0	4	13	2	1	18	0			0	16	3	1	13	5	
業	100%	36.8%	36.8%	26.3%	16.7%	66.7%	8.3%	15.8%	78.9%	5.3%	5.3%	94.7%	0.0%	21.1%	68.4%	10.5%	5.3%	94.7%	0.0%			0.0%	84.2%	15.8%	5.3%	68.4%	26.3%	
	38	10	15	13	3	23	4	6	30	2	2	36	0	4	28	6	1	35	2	2	11	6	3	29	6	1	27	10
100%	26.3%	39.5%	34.2%	9.7%	74.2%	12.9%	15.8%	78.9%	5.3%	5.3%	94.7%	0.0%	10.5%	73.7%	15.8%	2.6%	92.1%	5.3%	10.5%	57.9%	31.6%	7.9%	76.3%	15.8%	2.6%	71.1%	26.3%	